

ビジネス基礎

教科(科目)	商業(ビジネス基礎)	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	普通科 1年次～ E群 B群 自由選択
使用教科書	ビジネス基礎 新訂版 実教出版				
副教材等	必要に応じてプリント資料や各種問題を配付します				

1 学習の到達目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる

2 指導の重点

将来社会人として活躍する生徒を対象とするので、以下に重点を置きたい

- ・ビジネス諸活動の基礎・基本となる知識を理解・修得すること
- ・ビジネスにおける基礎・基本の計算が理解できること
- ・将来の生活設計と自己の財産管理について考察し理解すること

3 学習の計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	ガイダンス	教科書	教科書内容説明	授業の進め方、学習方法、評価方法などの説明・ガイダンス	1	観察
	第2章 経済と流通の基礎	教科書 問題プリント (確認作業用)	1. 経済のしくみと ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> *商品について考察し、それを通じ、経済主体、経済循環を理解する *経済をささえるビジネスについて様々な場面から理解する *ビジネスの経済学的な理解 	16	観察 机上巡視 問題演習
			2. 社会の変化と ビジネスの発展	<ul style="list-style-type: none"> *サービス経済化の意味と特徴 *情報とビジネスとの関連 情報セキュリティ、情報モラルをきちんと理解しておく必要性 *グローバル化とビジネスとの関連 *環境問題、エネルギー問題、食糧問題などの諸問題がビジネスに与える影響について 		
			3. 経済活動と流通	<ul style="list-style-type: none"> *生産と消費との隔たりと流通の役割について *流通のしくみについて *消費者のニーズや行動の変化について具体的事例をもとに理解していく 		
第3章 ビジネスの担い手		1. ものの生産者	<ul style="list-style-type: none"> *生産者の基本的役割について *製造業についての理解 *製造業に関連する法律について *グローバル化にともなう製造業をとりまく環境の変化について 	18	観察 机上巡視 問題演習	
		2. サービスの生産者	<ul style="list-style-type: none"> *「サービスの生産」ということ *形のないサービスになぜお金を支 			

				払うのか、ということの理解 *現在のサービス業者のビジネス *消費者のライフスタイルの変化とサービス業との関わりについて *サービス業と製造業との融合 *小売業者の役割について *小売業者の業態別分類 *小売業者の現状 *今日の小売業者の動向と今後の小売業者の動向		
			3. 小売業者			
			4. 卸売業者 5. 物流業者 6. 金融業者 7. 情報通信業者	*それぞれ、どのような企業活動をしているのかを具体的に理解する		
後 期	第4章 企業活動の基礎	教科書 問題プリント (確認作業用)	1. ビジネスと企業	*企業役割や種類などについて特に株式会社のしくみ、機関については、基本的な内容をしっかりと理解する。*企業の組織について、組織の発展をたどりながら組織の意味を理解する。 *いろいろな組織と経営戦略との関連について	10	
			2. 資金調達	*運転資金と設備資金の存在 *それぞれの資金の意味の理解 *資金調達の方法の種類（とくに社債の発行と株式の発行による資金調達について）の理解		
			3. 企業活動と税	*税の意味と法人税・住民税・事業税・固定資産税・消費税の概略。 *申告納税方式について、		
			4. 雇用	*雇用の意義について、 *わが国における雇用の特徴 *正規雇用と非正規雇用 *福利厚生制度について。 *今日の雇用の問題点、特に企業に求められている事項の確認する。		
			5. 企業倫理	*企業倫理と社会的責任について。 *企業倫理の大切さを理解させる。 *企業の不祥事防止策について		
後 期	第5章 ビジネスと売買取引		1. 売買取引の手順	*売買契約における品質数量価格の決め方、受け渡し条件、代金決済の方法について *見積と注文の方法について（書類の意味） *商品の受け渡し、代金支払いについて（書類の意味）	12	
			2. 代金決済	*現金預金について *小切手、約束手形、為替手形について *会預金振替、クレジットカードの利		

				用について		
第6章 売買に関する計算	教科書	1. 売買に関する計算の基礎	*割合の表わし方, 基準量と比較量, 割増しおよび割引の計算について。 *取引数量と建・建値による商品の代価の計算方法 *仕入原価・値入れと予定売価・値引きと実売価・損益額と損益率などについて	8		
		2. 売買に関する計算の応用	*度量衡の意味と換算に関する問題練習 *貨幣換算の意味を理解させ, 換算に関する問題演習。 *単利と複利, 利息と元利合計, 利息の日数計算			
第7章 ビジネスと コミュニケーション		1. コミュニケーション	*コミュニケーションの重要性 *コミュニケーションの分類と様々な方法について *話し方, 聞き方のポイント	5		
		2. ビジネスマナー	*ビジネスマナーの重要性 *自己管理・会社の顔としての身だしなみ, 心遣いの重要性, *挨拶, 言葉づかい *電話応対, 来客の接待など			
		3. 情報の入手と活用	*ビジネスにおける情報について *様々な情報源と情報の活用について (収集の効率と信頼性) *インターネットをはじめとする情報入手の方法の確認			

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

*いくつかの単元で各自の生活を振り返ってもらうためのレポート課題を用意する予定です。
*デザインなどの実習も試みたいと思っています。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・ビジネスの諸活動に広く関心を持ち, その意義や役割の理解及び諸問題の探求を目指して, 主体的に学習に取り組むとともに, 経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身につけている。	・ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連から的確に把握し, 自ら思考を深め, 基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し, 創意工夫する能力を身に付けている。	・ビジネスに関する基礎的・基本的な技術と望ましい心構えを身につけ, 経済社会の一員としてビジネスの諸活動を適切に実践できる。	・商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに, ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身につけ, 経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。

6 担当者からの一言

この科目は, 生徒の皆さんが生活する社会の基本的事項について学習するものです。私たちはなほこげなく買い物をしたり, サービスを受けたりしていますが, なぜ買い物やサービスを受けることができるのでしょうか。このことについて私たちの常識を一步越えた理解ができるように心がけて欲しいと考えています。同時にこれからの生活の中で損失をこうむらないための知識も取り入れていきます。内容的に少し難しいと思われる箇所も出てきますが, できるだけ平易に説明していきたいと思っています。世の中の常識を得るという意味で学習してください。

マーケティング

教科(科目)	商業 マーケティング	単位数	2 単位	学科・学年・コース・組	普通科 3年次～ 2群 自由選択
使用教科書	マーケティング 新訂版 実教出版				
副教材等	必要に応じてプリント資料や各種問題を配付します				

1 学習の到達目標

1. 現代の市場でのマーケティングが果たす役割とその意義を理解させる。
2. マーケティングに関する体系的な知識と技術を習得させる。
3. マーケティング活動を計画的、合理的に行う能力と態度を育てる。
4. マーケティングに関連する職業への認識を深めさせ、進路選択の幅を広げる。

2 指導の重点

- 将来社会人として活躍する生徒を対象とするので、以下に重点を置きたい
- ・ビジネス諸活動におけるマーケティングの重要性を認識する
 - ・特に広告など身近なマーケティング活動の果たす役割について理解を深める
 - ・賢い消費者になるための知識を考察する

3 学習の計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	ガイダンス		教科書内容説明	授業の進め方、学習方法、評価方法などの説明・ガイダンス	1	観察 机間巡視 問題演習
	第1章 現代市場と マーケティング	教科書等 問題演習プリント	1. 現代市場の特徴	*現代市場のメカニズム *消費の動向 *生産の動向 *流通の動向	9	
			2. マーケティングの概要	*マーケティングの発展と内容 *マーケティング管理の必要性		
	第2章 市場調査	教科書等 問題演習プリント	1. 市場調査の意味	*市場調査の必要性 *市場調査の内容	7	
			2. 市場調査の手順	*状況分析 *予備調査 *本調査		
			3. 実態調査の方法	*調査方法の決定 *資料収集方法の決定 *変化をとらえる調査方法		
			4. 市場調査の実習	*市場調査を実習する		
	第3章 消費者行動	教科書等 問題演習プリント	1. 消費者行動と購買	*消費者による問題解決行動としての購買 *購買とマーケティング活動 *購買意思決定に影響を及ぼす要因	9	
			2. 購買意思決定過程	*問題認識(動機づけ) *情報探索と情報収集 *選択肢の評価 *購買行動 *消費・使用と購買後の評価		

			3. 製品のライフサイクルと普及	<ul style="list-style-type: none"> *製品のライフサイクル *製品の普及と顧客層の変化 		
	第4章 販売計画	教科書等 問題演習プリント	1. 販売計画と販売予測 2. 販売計画の立案・実施・統制	<ul style="list-style-type: none"> *販売計画の必要性 *販売予測 *販売計画の立案 *販売計画の実施と統制 	3	
	第5章 製品計画	教科書等 問題演習プリント	1. 製品計画の概要 2. 製品ミックスと製品政策	<ul style="list-style-type: none"> *商品計画の内容 *製品計画の重要性 *製品計画の内容 *流通業者による商品開発 *製造物責任と環境保全 *製品ミックス *製品製作 	6	
後 期	第6章 仕入計画と商品管理	教科書等 問題演習プリント	1. 仕入計画 2. 商品管理	<ul style="list-style-type: none"> *仕入計画の意味 *仕入計画の手順 *仕入計画の内容 *商品管理の意味 *在庫管理 *商品の物的管理 	6	前期と同じ
	第7章 販売価格	教科書等 問題演習プリント	1. 販売価格の決定 2. 価格戦略	<ul style="list-style-type: none"> *販売価格の意味 *販売価格の種類と構成 *販売価格の決定 *販売価格の決定に影響する要因 *価格戦略の意味 *卸売価格戦略 *価格の維持・安定政策 *小売価格政策 *新製品を発売する際の価格政策 *小売価格の表示 	6	
	第8章 販売経路	教科書等 問題演習プリント	1. 販売経路の設定 2. 販売経路の強化	<ul style="list-style-type: none"> *販売経路と販売経路政策の意味 *販売経路の形態 *販売経路を設定する基準 *販売経路政策の種類 *販売経路の強化の方向性 *販売経路の系列化 *販売経路の短縮化 *販売経路の効率化 *販売経路の多様化 *流通業者の立場と対応 	4	
	第9章 販売促進	教科書等 問題演習プリント	1. 販売促進の重要性 2. 広告	<ul style="list-style-type: none"> *販売促進の役割 *販売促進の内容 *販売促進の進め方 *広告の意義 *広告の計画と実施 *広告の主体と内容 *広告のメディア *PR活動とパブリシティ戦略 	18	

			3. 販売員活動	<ul style="list-style-type: none"> *販売員活動の特質 *販売員活動の手順 *販売員に必要な資質と知識 *販売員の管理 		
			4. ブランド	<ul style="list-style-type: none"> *ブランドの意味 *ブランドの展開 *ブランドのライフサイクル *ブランドの機能 		
			5. 信用販売	<ul style="list-style-type: none"> *信用販売の意義 *信用販売の種類 *信用販売の難しさ *クレジットカードによる販売 *信用販売の社会的問題と対応 		
			6. その他の販売促進	<ul style="list-style-type: none"> *ソーシャルメディアの活用 *ビッグデータの活用 *販売サービスの実施 *イベントの開催 		
	1年間のまとめ				1	

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

*いくつかの単元で各自の生活を振り返ってもらうためのレポート課題を用意する予定です。
 →みなさんの実生活での買い物の意識調査も行ってみたいと考えています。
 *適宜、問題演習のプリントを配布し、要点整理を行っていきます。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の探究を目指して意欲的に取り組もうとしている。 ・経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに関する諸問題を経済生活との関連から的確に把握し、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに関する基礎的、基本的な技術と望ましい心構えを身に付けている。 ・経済社会の一員としてビジネスの諸活動を適切に処理し、その成果を的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業を学ぶ目的や学び方を理解している。 ・ビジネスに関する基礎的 ・基本的な知識を身に付けている。 ・経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。

6 担当者からの一言

この科目は、私たちが日常行っている買い物がどうしてできるのか、というところから出発して、販売店の行動原理、消費者の行動原理をじっくり考察する科目です。私たちはなにげなく買い物をしたり、サービスを受けたりしていますが、なぜ買い物やサービスを受けることができるのでしょうか。このことについて私たちの常識を一步越えた理解ができるように心がけて欲しいと考えています。同時にこれからの生活の中で損失をこうむらないための知識も取り入れていきます。内容的に少し難しいと思われる箇所も出てきますが、できるだけ平易に説明します。

教科(科目)	商業(簿記)	単位数	4 単位	学科・学年・コース・組	普通科 3年次～ 5・6群 自由選択
使用教科書	新簿記 新訂版 実教出版				
副教材等	「反復式学習と検定 簿記問題集3級 改訂版」 「令和3年度版 全商簿記実務検定模擬試験問題集 3級」 必要に応じてプリント資料や各種問題を配付します				

1 学習の到達目標

1. 企業において日常発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解させる。
2. 帳簿や財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる
3. 様々な簿記上の取引を考察し、仕訳や記帳の方法を学ぶ。
4. 実際の企業における決算の基本を学ぶ。

2 指導の重点

簿記の基本的な仕組みや様々な簿記上の取引について、仕訳の方法や各種帳簿の記帳方法を通じて学んでいきます。さらに、企業における決算について、決算報告に至るまでの流れ、方法について学んでいきます。

3 学習の計画

月	単 元 名	教 材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	科目ガイダンス	教科書		・教科書目次を用いて科目の内容について説明する ・授業に必要なもの、心構え、評価方法などについて説明する	2	観察
	第1章 簿記の基礎	教科書	簿記の意味 簿記の目的 簿記の種類 簿記の歴史 簿記の前提条件	・簿記の意味・目的・役立ちなどを理解させ、学習の心構えを養う ・これから学ぶ簿記は複式簿記の商業簿記であることを知らせる ・簿記の歴史にふれるとともに簿記の前提条件について理解させる。 ・教科書復習問題による復習	4	観察 机上巡視
	第2章 資産・負債・資本と貸借対照表	教科書 演習問題プリント	簿記の5つの要素 資産 負債 資本 貸借対照表 資産・負債・資本の増減と純損益の計算	・資産・負債・資本のそれぞれの意味と種類を理解させる。 ・貸借対照表の概要を説明し、貸借対照表の作成法を習得させる。 ・取引によって資産・負債・資本の増減から、期首と期末の財政状態に変化が生じ、その差額が純損益であることを理解させる(財産法) ・期首の貸借対照表と期末の貸借対照表の違いをはっきりさせる	8	観察 机上巡視 演習プリントの取組
	第3章 収益・費用と損益計算書	教科書 演習問題プリント	純損益の発生原因 収益 費用 収益・費用の発生と純損益の計算 損益計算書	・収益・費用のそれぞれの意味と種類を理解させる ・損益取引によって生じる収益総額から費用総額の差額が純損益であることを理解させる(損益法) ・損益計算書の概要を説明し、その作成法を習得させる。	8	観察 机上巡視 演習プリントの取組
	第4章 取引と勘定	教科書	取引の意味 勘定の意味 勘定口座 勘定記入の方法 取引の分解と勘定記入	・簿記上の取引の意味を理解させる。 ・勘定・勘定科目・勘定口座の意味、勘定の種類を理解させる。 ・勘定記入法について理解させ	4	観察 机上巡視

			貸借平均の原則	る。 ・取引の結合関係を理解させる。		
第5章 仕訳と転記	教科書 演習問題プリント	仕訳 転記		・仕訳の意味を知らせ、仕訳のしかたを十分理解させる。 ・各勘定口座への転記のしかたを十分理解させる。 <十分に時間をとって、定着をはかる>	1 2	机上巡視 演習プリントの取組 *個人指導も行う
第6章 仕訳帳と総勘定元帳	教科書 補助プリント	取引の記帳 仕訳帳の記入方法 総勘定元帳の記入方法		・仕訳帳と総勘定元帳の意味を明らかにし、それぞれの記帳法を理解させる。 <仕訳帳の記帳ルール、総勘定元帳の記帳ルールの説明。深入りせず、必要に応じて繰り返し演習していく>	2	観察 机上巡視
第7章 試算表	教科書 演習問題プリント	試算表の意味 試算表の種類と作成方法 試算表の貸借が一致しない場合の調査方法		・試算表の意味と種類を理解させる ・試算表と貸借平均の原則の関係について、教科書の図などを使って理解させる。 ・試算表の作成法を習得させる。	2	机上巡視 演習プリントの取組
第8章 精算表	教科書 問題演習プリント	精算表の意味 精算表の作成方法 精算表のしくみ		・精算表の役割を明らかにし、その作り方に習熟させる。 ・精算表から複式簿記のしくみを理解させる。	3	机上巡視 演習プリントの取組
第9章 決算	教科書 問題演習プリント	決算の意味 決算の手続き 決算の本手続き 決算の報告		・決算の意味・必要性・重要性について理解させる。 ・決算手続き全体の流れを理解させ、その記帳に習熟させる。(英米式決算法) ・繰越試算表の役割を理解させる。 ・決算を正確に行う心がまえを養う。 <振替仕訳が理解しにくい部分であるから時間をかけてじっくり説明・演習する> <決算手続の流れをきちんと把握できるように時間をかけて演習する>	1 2	机上巡視 演習プリントの取組 *個別指導も行う
第2 3章 伝票	教科書 伝票起票演習課題 伝票集計演習問題	証ひょうと伝票 3伝票制		・証ひょう・伝票の意味とその役割を明らかにする。 ・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解させ習熟をはかる。 ・仕訳集計表(伝票集計表)の作成ルールを理解させる <ここで商品に関する一般的記帳方法である3分法について詳しく説明する>	1 3	机上巡視 起票作業、集計作業の取組状況 *個別指導を含む
前期の復習	教科書			・前期学習内容の復習	1	観察
第10章 現金・預金などの取引	教科書 演習問題プリント	簿記で現金として扱うもの 現金出納帳の記帳 現金過不足について 各種の預金について 当座預金 当座借越 当座預金出納帳の記帳		・簿記で現金として扱うものをはっきりとわかるようになる。 ・帳簿と現金の実際高が異なるときの記帳方法について、原理と記帳方法を学習する。 ・当座預金についての理解と仕訳 ・小口現金についての理解と記帳	7	観察 机上巡視 演習プリントの取組
後						

期	第11章 商品売買の 記帳	教科書 演習問題プリント	小口現金 小口現金出納帳の記帳 3分法について 仕入帳 売上帳 商品有高帳 先入先出法 移動平均法	<ul style="list-style-type: none"> 商品が売買されたとき、3分法で記帳した方が簡単に記帳できることを理解する。 仕入や売上の取引を記帳する帳簿が仕入帳・売上帳であり、記帳方法と締切の方法を学習する 商品在庫数量を帳簿上はつきりさせるための帳簿が商品有高帳で、先入先出法と移動平均法による記帳方法を学習する。 	10	観察 机上巡視 演習プリントの取組
	第12章 掛け取引	教科書 演習問題プリント	掛け取引の意味 売掛金に関する取引 買掛金に関する取引 貸し倒れについて	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活での「掛け」についての理解を深める 売掛金における人名勘定、統制勘定の言葉の意味 売掛金元帳、買掛金元帳の意味と記帳方法について学習・理解する 貸し倒れの意味と記帳方法について学習・理解する 	6	観察 机上巡視 演習プリントの取組
	第13章 手形の取引	教科書 演習問題プリント	手形の種類について 約束手形とその記帳方法 為替手形とその記帳方法 手形の裏書譲渡 手形の書引 手形記入帳の記帳方法	<ul style="list-style-type: none"> 支払い手段として手形が存在していることを理解させる。 約束手形・為替手形の取引についてと仕訳の方法を理解する。 手形による借入金について説明し、このようなことをしてはいけないことを理解させる。 手形の裏書譲渡、書引が日常的によく行われる理由と仕訳について理解させる。 手形記入帳の記帳方法を学習する。 	8	観察 机上巡視
	第14章 有価証券の 記帳	教科書 演習問題プリント	簿記で扱う有価証券について（範囲の限定）の理解 株式・社債の買入価額・売却価額の計算方法	<ul style="list-style-type: none"> 簿記上の有価証券の意味をしっかりと理解させる 買入価額・売却価額の計算方法についてしっかりと理解する。 	5	机上巡視 演習プリントの取組
	第15章 その他の 債権・債務の取引	教科書 補助プリント	企業における各種の債権・債務についての理解 貸付金、借入金、手形貸付金、手形借入金、前払金、前受金、立替金、預り金、仮払金、借受金、商品券	<ul style="list-style-type: none"> 企業における各種の債権債務について、教科書を中心に理解させる。 仕訳ができるようにする 	7	観察 机上巡視
	第16章 固定資産の	教科書	固定資産の簿記上の意味の	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産の取得 	6	机上巡視

	取引	演習問題プリント	理解	諸費用が取得価額に含まれることに注意する ・固定資産の売却 売却損益が出ることに注意させる ・仕訳ができるようにする		演習プリントの取組
	第17章 個人企業の資本と税金	教科書 問題演習プリント	個人企業の資本増減の理由についての理解 個人企業の主な税金についての理解	・個人企業で資本が増減する要因(追加元入れ、純損益の発生) ・引出金勘定を使う理由 ・個人企業の税金 ・費用と認められる税金と認められない税金の区別 ・仕訳ができるようにする	6	机上巡視 演習プリントの取組
	第19章 決算整理 その1	教科書 問題演習プリント	決算整理の意味 売上原価の計算方法 貸し倒れの意味と見積りの方法 減価償却の意味と計算方法 一定額法、定率法 減価償却の記帳方法 一直接法による記帳	・決算整理について理解 ・売上原価の計算場所と計算方法(公式) ・貸し倒れの見積りの方法 ・定額法による減価償却費計算 ・定率法による減価償却費計算 ・仕訳ができるようにする	6	机上巡視 演習プリントの取組 *個別指導も行う
	第20章・21章 8桁精算表/財務諸表の作成	教科書 問題演習プリント	8桁精算表の意味と作成手順について 帳簿決算の意味と財務諸表の作成方法	・決算の流れの理解 ・8桁精算表の作成ができるようになる ・貸借対照表、損益計算書の作成ができるようになる	8	机上巡視 演習プリントの取組 *個別指導を含む

計 140 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

*簿記は教科書の理解もさることながら、問題演習が十分でなければ学習効果が得られない科目です。
毎時間問題演習を行い、取引の内容や問題文の読み方などを指導していきます。

5 評価規準・評価方法

評価は次の4つの観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
*簿記の取引を通じて、様々な社会における取引を間接的に体験する態度が身についている。	*取引内容により、正しい勘定科目考え、簿記要素の増減による貸借の関係を判断できる。	*各種取引の仕訳ができる。 *決算の手順、方法から精算表、貸借対照表、損益計算書が作成できる。	*各種の取引を正しく仕訳するために必要な知識を身につけている。

6 担当者からの一言

初めての事項や今までに経験したことのない社会での習慣が多く出てくるので、ゆっくりと学習していきます。学習した人が、将来に役立つ可能性のある事柄についても授業中にふれたいと考えています。
科目の性格上、積み上げをしていきますので、欠席してしまうとわからなくなってしまいます。よく説明を聴き、問題演習をしてください。なお、簿記検定試験を受験したい人は相談してください。